



Release Notes—version 1.1

初めてKi Proを使う場合は、この書類と、クイックスタートガイドを必ず確認してください。
クイックスタートガイド：<http://www.aja-jp.com/download/install-guide/>

新機能

以下の新機能がバージョン1.1ファームウェアに追加されました。

- ・ Apple ProRes 422 (LT) およびApple ProRes 422 (Proxy) での収録／再生に対応
- ・ 720p Variable Frame Rate (VFR) での収録に対応：1.1 Record Typeに "VFR" 追加
720p 24 (23.98)、720p 25、720p 30 (29.97) VFRでの記録が可能になります。
- ・ 1080pの入出力に対応
1080p 23.98、1080p 24、1080p 25、1080p 29.97の入力信号を自動認識します。
- ・ 1080p 再生のためのパラメータ "1.3 1080p Playback" を追加
1080p 収録素材を再生する際に、"PsF (初期値)" または "Progressive" を選択します。
- ・ オーディオ／ビデオ シグナルジェネレータ機能を追加
41.1 Video SG Frmt：生成するビデオ信号フォーマット (525i 29.97、625i25、720p 50、720p 59.94、1080PsF 23.98、1080i 25、1080i 29.97) を選択します。
41.2 Video SG：生成するビデオ信号の種類 (OFF、Black、75% Bars、100% Bars) を選択します。
41.3 Audio SG：生成するオーディオ信号の種類 (OFF、SILENCE、1kHz) を選択します。
- ・ 802.11 Available機能を追加：53.0 802.11 Available
Wi-Fiのアクセスポイントを自動で認識し、選択できるようになりました。SSIDを手入力する必要はありません。パスワードがアスタリスクで表示されるようになりました。パラメータ "53.5 Hide 802.11 Password" では、パスワードの表示／非表示を切り替えることができます。
- ・ ファンスピード設定に "Quiet Auto" と "Normal Auto" を追加：70.3 Fan Speed
"Quiet Auto" を選択している場合、収録を開始するまでは通常でファンを動作させ、収録時には静音性の高い、低速回転へ自動的に切り替わります。
- ・ Play Media 機能を追加：15.1 Play Media
1つのクリップのみを再生する (One) か、すべてのクリップを再生する (All) かを選択します。
注：異なるフォーマットとフレームレートのクリップが連続している場合、Ki Proは連続して再生を行います。モニター側では表示するフォーマットや信号を切り替える必要があるため、断続的に表示される場合があります。フォーマットやフレームレートを揃えた場合は連続して表示されます。このパラメータはLoop Play 機能と組み合わせて使用することができます。

下記は将来のファームウェアアップデートによって対応を予定している機能です。

- ・ ExpressCard/34メディアへの収録および再生
- ・ Ki Pro本体のFireWire 800ポートを使用した「メディアリーダー」機能
- ・ SDIおよびHDMIからの8チャンネル・オーディオ入出力 (本ファームウェアでは2チャンネルのみをサポート)
- ・ RS-422によるデバイスコントロール
- ・ LANCおよびLens Tapによるデバイスコントロール
- ・ FireWire 400ポートからのタイムコード入力

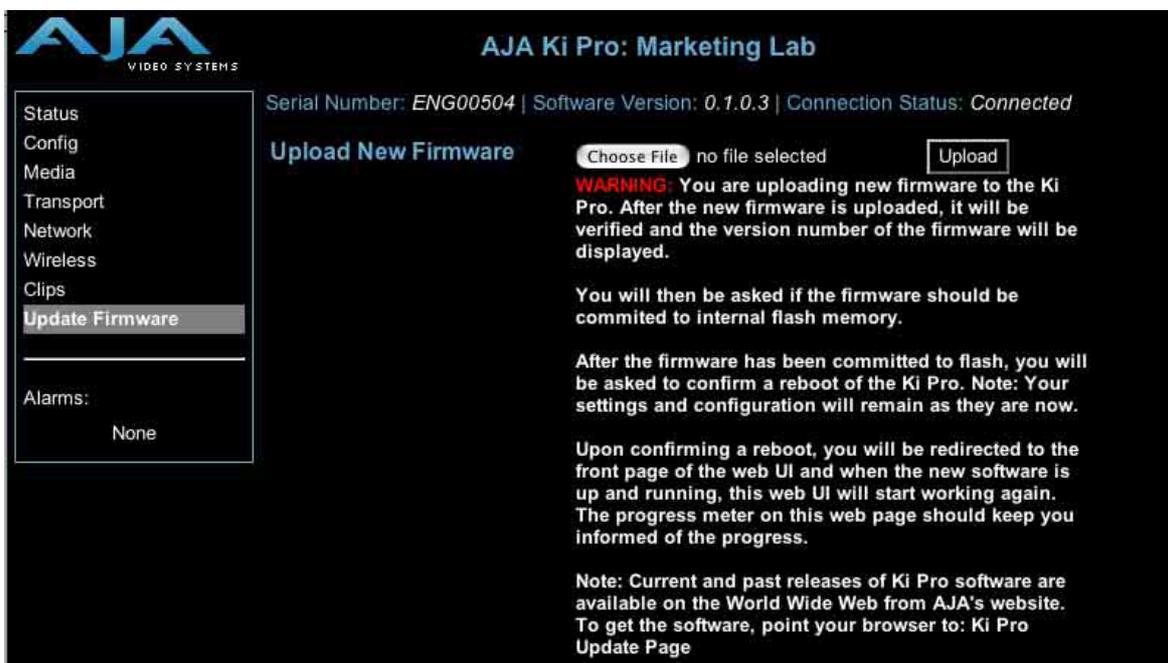


使用上の注意点と既知の問題

- ・ ファームウェアのアップデートを行った場合、WebブラウザとKi Proの接続は解除されます。再接続を行なうには、ページをリロードするか再度接続しなおしてください。
- ・ Ki Proで収録したクリップをFinal Cut Proに読み込んだ場合、「最適化されていない」旨のダイアログが表示される場合がありますが、これらのクリップは問題なくFinal Cut Proで使用する事ができます。

Ki Pro ファームウェアアップデート

ファームウェアのアップデートは、WEBブラウザ経由で行います。



ソフトウェア更新の準備

1. 最新のKi Proソフトウェアをダウンロードします。

<http://www.aja-jp.com/download/ki-pro/>

2. ダウンロードしたファイルを解凍します。

Ki Proのソフトウェアアップデートはzipファイルです。一般の解凍ソフトを使って解凍してください。Ki Proにインストールするソフトウェアは、kipro_ver_1.0.1.0.bin等のファイル名で表示されます。

注：PCまたはMac OSの設定によっては、拡張子".bin"はファイルディレクトリ上で表示されない場合があります。



ソフトウェアをアップロードしてインストールする

1. Ki Pro WEBページの左側にあるナビゲーションボックス下部の“Update Firmware”をクリックして、Ki Proのアップデートページを表示します。
2. “Choose File” ボタンをクリックし、あらかじめダウンロード後に解凍したファイルを選択します。
3. ファイルを選択したら、“Upload” ボタンをクリックします。選択したファイルがKi Proにアップロードされ、有効性がチェックされます。ファイルが不完全である場合や、破損している場合、Ki Proのソフトウェアでない場合はエラーメッセージが表示されます。
4. 完了するまで数分程待ちます。完了後はKi Proの再起動が必要です。再起動後、Ki Proは新しいソフトウェアで動作し、アップデート前のKi Proの各種設定は保持されます。

ソフトウェアのバージョンはKi ProのすべてのWEB画面の一番上に表示されます。新しいソフトウェアが動作していることを確認してください。何らかの理由でアップデートされていなかった場合は、上記の手順をもう一度やりなおしてください。

注：ブラウザによっては、ソフトウェアがアップデートされていても、Retryページが表示されることがあります。そのような場合は、再度アップデートする前に、一度WEBページをリロードしてバージョンを確認してください。ページ上部に新しいバージョン番号が表示されている場合は、ソフトウェアのアップデートは成功しています。バージョンが古い場合はRetryをクリックしてください。

ソフトウェアのダウンロード中に電源供給が途切れた場合、Ki Proは古いバージョンのソフトウェアを起動します。アップデートを最初からやり直してください。Ki Proの安全重視設計により、アップデートが失敗したときのために、常にひとつ前のソフトウェアのコピーを保持しています。

注意：Ki Proをバージョンアップするときは、AC電源またはフル充電したバッテリーのご使用をお勧めします。